

## 第 114 回エフエム熱海湯河原 番組審議委員会 議事録

- 1 開催日時 令和 2 年 7 月 1 6 日 (木) 午後 1 時 30 分
  - 2 場 所 湯河原町役場 第 2 庁舎 3 階 会議室 (湯河原町中央 2-2-1)
  - 3 委員総数 1 0 名、出席委員数 8 名、欠席委員数 2 名
- 出席委員：西海裕代、館石晃一、深田真弓、富岡久和、川口正樹、宮下睦史、齋藤早紀、さいとう真由美

欠席委員：高橋祐介、石田浩二

放送局側出席者 山崎浩一、金井周平

- 4 前回審議番組の経過 開催通知に議事録を添付した。

### 5 議事

- (1) 2020 年度番組審議委員会委員委嘱

※別紙のとおり 1 0 名が委嘱されました

- (2) 委員長、副委員長選出

※別紙のとおり西海委員長、館石副委員長が選出されました

- (3) 番組へのご意見

◆対象番組:コロナ禍での特別番組: 5月18日~29日オンエア

『休校中の児童生徒に向けた先生からのメッセージ (真鶴小・中)』

### ○委員からの意見

- ・小学校の先生のほうが生徒に対してのメッセージがダイレクトに伝わってくる
- ・校長先生が普段の言葉で生徒たちに語りかけているのが好感が持てる
- ・学校に行けない中、学校の風景をベスト 1 0 形式で伝えていたのは子供たちが想像出来て嬉しかったのでは？
- ・生徒たちへの周知方法は？

《局から回答》

⇒放送日時が決まった段階で学校から保護者に資料配布およびメールで通知。

- ・生徒たちの心のケアにも一役買っているのでは
- ・学習の事も忘れずに、出来る事をやって前に進んで行こうという所が出ていて良かった
- ・今後自粛期間等があった場合は熱海市・湯河原町、皆さんと調整してこのような番組を放送したい。
- ・この番組のように小学生・中学生に聴いてもらい FM 熱海湯河原に親しんでもらう事が将来的にリスナー開拓につながる
- ・これ以外でも小学生、中学生を意識した番組企画をすると良いのでは
- ・真鶴の学校を全く知らない人達が聴いても、こんな先生がいるのか、今学校はこんな状況なんだとわかる内容で飽きずに聴けた。
- ・コロナ自粛でラジオ自体の聴取者が増えていると言われていたが FM 熱海湯河原はどうか？

《局から回答》

⇒インターネットで聴取リスナーからのメッセージが増加した。

- ・生徒、父兄等どのぐらいの人がこの番組を聴いたか？

《局から回答》

⇒聴取数は不明だが、先生に会いたくなかった。普段ラジオを聴かない子供たちが楽しそうに聴いていた等の声があった。

・休校中のゲーム三昧を叱ったり、学校からの宿題の多さなど家庭内にマイナスの雰囲気漂う中、一緒に先生からの声、メッセージを聴ける場があるのは良い

- ・ラジオを聴くきっかけになる
- ・他の放送局でこのような取り組みはやっているか？

《局から回答》

⇒テレビ神奈川が放送していた

## 6 その他（報告）

- ・6月に当社代表取締役社長が変更になった

## 7 その他参考となる事項

番組審議委員会の開催日を委員に諮ったところ、

次回は、令和2年9月17日（木）に熱海市内で開催することになった。

↓

※定足数に満たなかったことにより流会